

町内の多数の業種・店舗で  
お得にご利用できます!



## 福智町プレミアム商品券

**利用期限** 平成23年2月28日(月)まで

**利用場所** 福智町内のプレミアム商品券取扱店

**販売価格** 500円券22枚綴り(計11,000円)が1冊10,000円(限定1,000冊)  
※1世帯につき5冊まで購入可。

**販売期間** 11月1日(月)～完売次第終了  
9時～17時15分(土日祝は休み)

**販売場所** 福智町商工会(旧赤池町商工会)  
旧方城町商工会・旧金田町商工会  
※11月8日(月)以降は福智町商工会のみでの販売となります。



←商品券が利用できるお店はこのステッカーが目印。商品券(1枚500円)は、1回の買い物で何枚でもご利用可能です。



問 福智町商工会 ☎ 28-5055

### 町長日誌

▼いよいよ、秋の到来である。あの猛烈に暑かった夏も、ようやく終わりを告げ、朝夕の風に少し肌寒ささえ感じるようになった。過ぎ去ってしまったが、すべて記憶の中にしか残らないが、全国各地で観測史上の最高気温を記録した今夏の異常さは、ひととき強い光を放ちながら、人々の脳裏に焼き付けられたに違いない▼9月の声を聞いてからも、いっこうに暑さは和らぐ気配を見せず、このまま秋の訪れを待ち続けるしかないのか—との諦観にとらわれている最中に、民主党の代表選挙が行われた。ご承知の通り、菅総理の続投ということで終結したが、わたしにとっては、結果より選挙戦そのものが意味を持っていた▼と言うのも、今日のわたしの原点を思い出させてくれたからだ。7年半の長きにわたり総理大臣を務めた佐藤栄作総裁が、昭和47年6月に辞任を表明し、自民党の後継総裁選挙が7月に実施された。昭和47年の年明けとともに、水面下で激しい前哨戦が繰り広げられていたが、その3月からある衆議院議員の事務所

に勤め始めたわたしは、見るもの、聞くことすべてが新鮮で驚きの連続であった。立候補した4人(田中角栄、福田赳夫、三木武夫、大平正芳)と、直前に辞退した中曽根康弘は、後に全員総理になった人であり、権力闘争のすさまじさを眼の当たりにした経験は、何にも代え難いものとなっている▼その時の勝利者であり庶民宰相と称された田中角栄待望論が、今しきりに言われているのは、歴史の皮肉だろうか。

浦田 弘二